



三菱電機ユニットクーラ [業務用] (UCH-PT・UCL-PT・UCR-PV形)

据付工事説明書 (販売店・工事店様用)

冷媒 R404A

UCH-PTNB
UCL-PTHB
UCR-PVHB

もくじ

	ページ
1.安全のために必ず守ること	1
2.使用上のご注意	2
3.各部の名称	3
4.ご使用の前に	3
5.据付場所・据付方法について	4
6.電気配線	7
7.試運転時のご注意	8
8.お手入れのしかた	8
9.保守・点検について	9
10.ようすがおかしいとき	10
11.保証条件・アフターサービス	11
12.仕様	12

ご使用の前に必ずこの「据付工事説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。万一ご使用中
にわからないことや不都合が生じたときお役に立ちます。
なお、受注仕様品につきましては製品の細部がこの説明書と若
干異なる場合があります。

1.安全のために必ず守ること

- ご使用前にこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
△注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- お読みになったあとは、取扱説明書とともにいつでも見られる場所に必ず保管し、移設時に読み直してください。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に大切に保管し、移設・修理の時は、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

△警告

据付けは、工事説明書にしたがって確実にを行う。

- 据付けに不備があると、冷媒漏れや火災・感電・水漏れの原因になります。

気密試験は確実にを行う。

- 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。

電気工事業者によるD種(第3種)接地工事を確実にを行う。

- アースが不完全な場合は感電の原因になります。

据付けは、質量に十分耐える所に確実にを行う。

- 強度の不十分な所に据付けると、ユニットが転倒・落下により、ケガの原因になります。

配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子台接続部に接続電線の外力が、伝わらないように確実に固定する。

- 接続や固定に不備があると、発熱・火災の原因になります。

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、工事説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。

水のかかるおそれのある場所には据付けない。

- 水がかかると、発火や感電の原因になります。

ユニットの端子台カバー(パネル)を確実に取付ける。

- 端子台カバー(パネル)の取付けに不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

安全装置の設定値変更はしない。

- 設定値を変えると、ユニットの破裂・発火の原因となります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外の冷媒や空気などを混入させない。

- 混入すると冷媒サイクルが異常高圧となり破裂・ケガの原因になります。

冷媒漏れ時の限界濃度対策は確実に。

- 屋内や冷蔵庫へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については、弊社代理店と相談して据付けてください。万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

冷媒サービス時は換気を十分行う。

- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気してください。冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

冷媒ガスのチェックは確実に。

- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが機械室内や冷蔵庫内に漏れ火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

△注意

漏電遮断器を取付ける。

- 漏電遮断器が取付けられていないと、感電の原因になります。

排水工事を確実にを行う。

- 霜取水などが屋内に浸水し、周囲を濡らす原因になります。

仕様の範囲内で冷凍サイクルを製作する。

- 仕様を逸脱して冷凍サイクルを作ると、破裂・発煙・発火漏電の原因になります。

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所に据付けない。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

ユニットの廃棄は専門業者に依頼する。

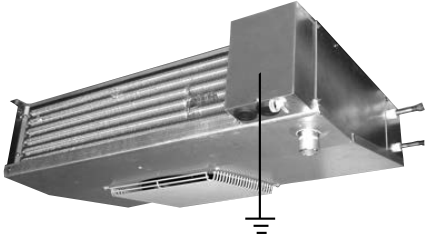
- ユニット内に油や冷媒を充てんした状態で廃棄すると火災・爆発・環境汚染の原因になります。

2.使用上のご注意

※冷媒R404A使用機器としての注意点、留意点は接続されるコンデンシングユニットの据付工事説明書を参照ください。

■設置状態を確認してください。

- 安全のため、アース端子から確実にアースが取付けられているか、確認してください。



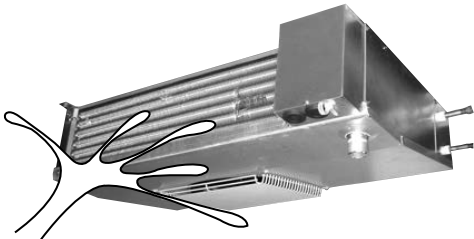
■ユニットのファン・ファンガードに直接手を触れないようにしてください。

- 特に霜取運転の後ユニットは、停止しているファンが突然回転することがありますので電源を切ってから点検してください。
- ユニットのドレンパン内部および、冷却器裏面には霜取ヒータが取付けられています。霜取中はドレンパンに手を触れないでください。また焦げるおそれがありますので冷却器裏面には燃えやすい品物を近づけないでください。(UCL・UCR形のみ)



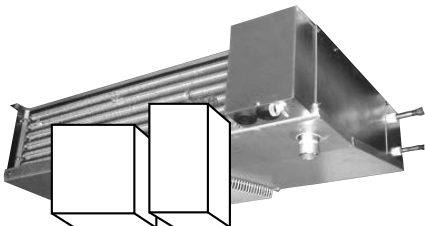
■ユニットに水をかけないでください。

- 漏電のおそれがあります。



■空気の循環をよくする。

- 冷却器ユニットの冷氣吸込口や冷器吹出口の前に商品を置かないでください。



■腐食性雰囲気では使用しないでください。

- 酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は、密閉容器に入れてください。密閉されていない場合、冷却器が腐食し故障の原因となります。また、腐敗物がありますと、アンモニアなどの腐食性ガスが発生しますので、腐食物を放置しないでください。

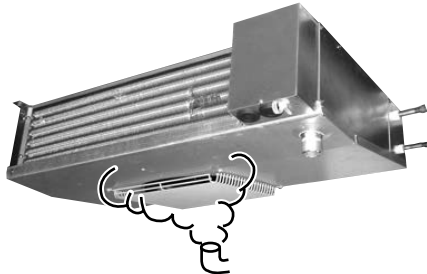
■危険物および化学薬品の貯蔵には使用しないでください。

- エーテル・ベンジンなど揮発性・引火性の薬品や爆発物を貯蔵しないでください。引火の危険があります。また、ラッカーペイント等の強燃性スプレーをユニットの付近で使用しないでください。
- 霜取中に多少の温度の上昇がありますので、高精度な温度管理が要求される化学薬品等の貯蔵には使用しないでください。



■加湿器を冷氣吸込口の近くに置かないでください。

- 加湿器を設ける場合は、加湿器の蒸気が直接ユニットに吸い込まれないように設置してください。蒸気を直接吸い込むと送風機の故障の原因となります。また湿度は90%RH以下でご使用願います。



なお、加湿器を使用する場合は、霜付きが早くなりますので霜取の間隔を見直してください。

■凍結の目的では使用しないでください。(UCR形ユニットの場合)

- 冷凍用は凍結された商品を保存するため凍結の目的で使用しないでください。

■適正な庫内温度で使用してください。

- ユニットは使用庫内温度により3タイプに分かれています。使用温度に合わせて適切な機種をご使用ください。

使用温度 (庫内温度)

+3℃～15℃

UCH-PTNB オフサイクル霜取

-5℃～15℃

UCL-PTHB ヒータ霜取

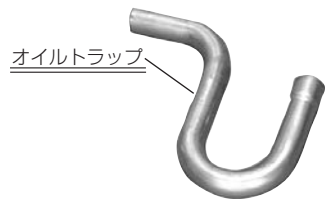
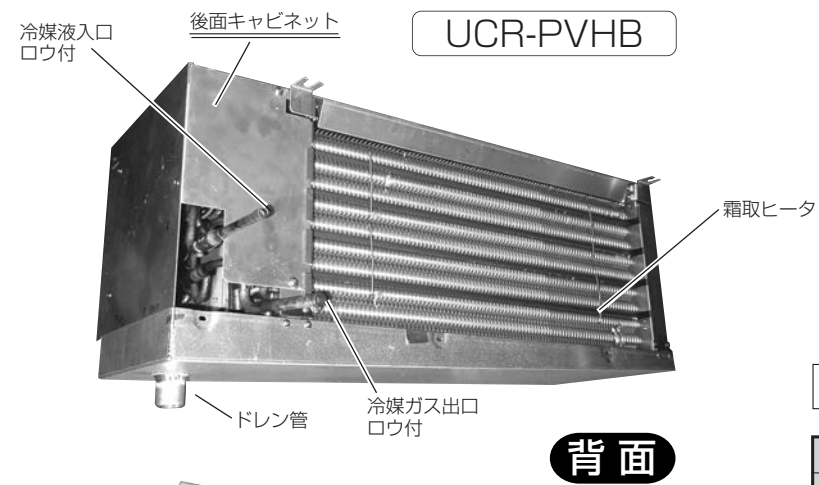
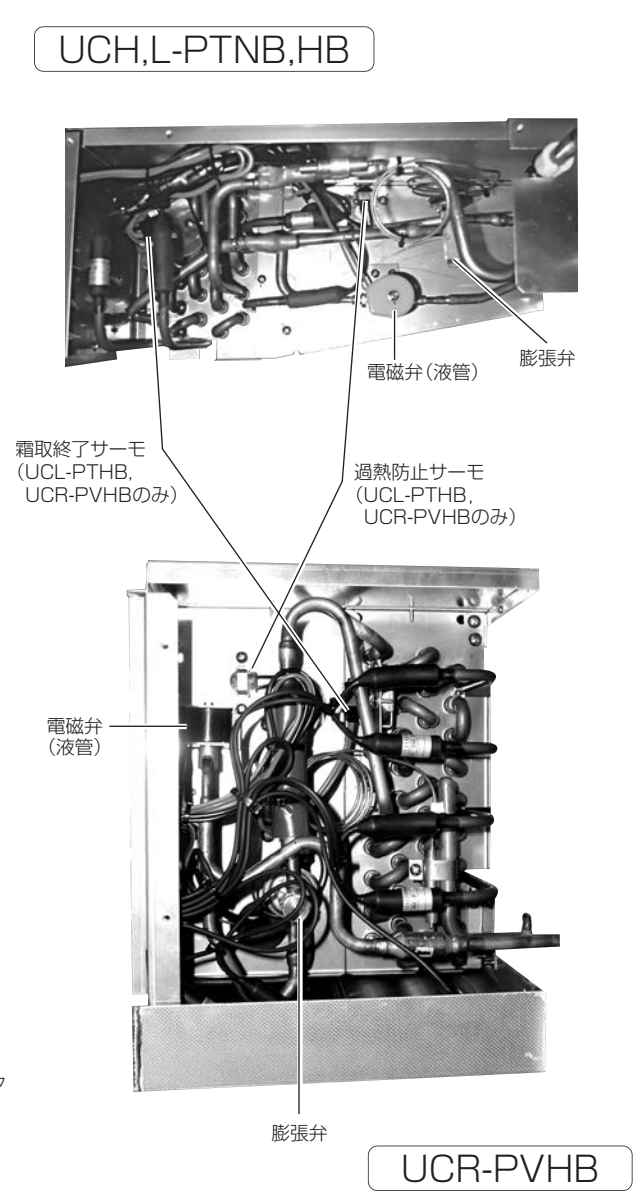
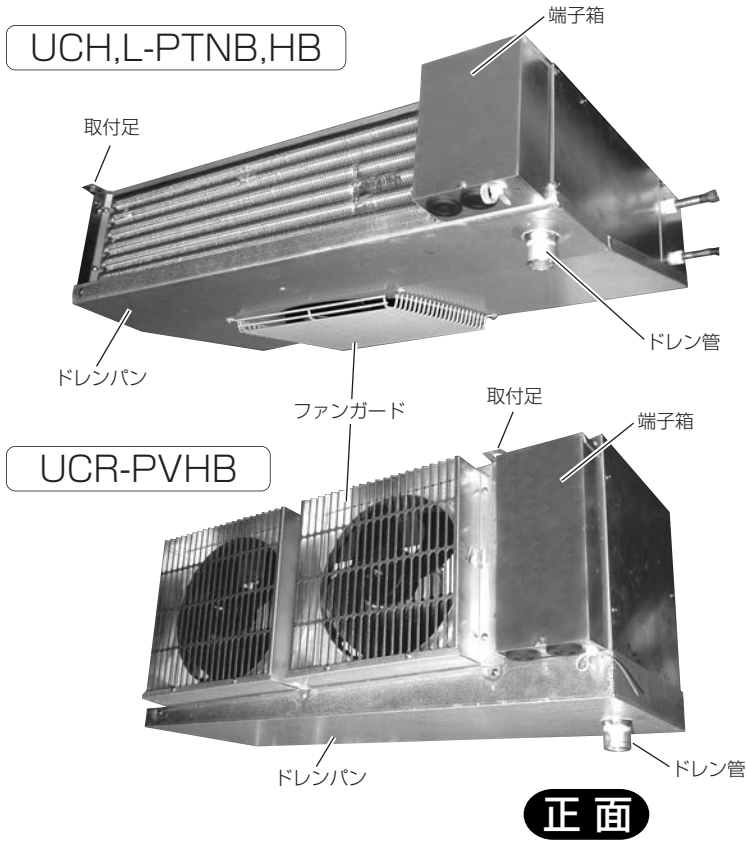
-30℃～-5℃

UCR-PVHB ヒータ霜取

■冷蔵庫の扉を開けたままにしないでください。

- ユニットの着霜が多くなり、残霜・不冷となるおそれがあります。

3.各部の名称



付属品

形名	オイルトラップ	ドレンホース	ドレンホースバンド	ドレンホースヒータ
UCH-PTNB	1(2HPのみ)	1	2	—
UCL-PTHB	1(2HPのみ)	1	2	—
UCR-PVHB	1	1	2	1

※据付時オイルトラップおよび後面キャビネットを取付け願います。

4.ご使用の前に

■ファンの回転を確認してください。
 輸送のための包装やテープを外し、ファンが支障なく回転するか手で回して確認してください。

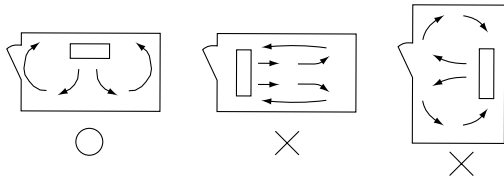
■ユニット内のガスを確認してください。
 ユニットの冷媒入口、出口パイプには栓がありますので、これを取外し内部に充てんしてあるガスを抜いてください。出荷時に十分検査を行ってはいませんが、もし、ガスが充てんしていない場合は、ガスリークが考えられますので、ガスリークテストを行ってください。

5.据付場所・据付方法について

据付場所

着霜が少ない場所への据付け

ユニットクーラを冷蔵庫の扉の近くに設置すると扉の開閉時に外気の暖かい湿った空気を吸い込み、冷却器への着霜が増し、冷却能力低下や送風機ファンの氷結の原因になりますのでユニットクーラと扉の距離はできるだけ離すようにしてください。



冷風が到達するような据付け

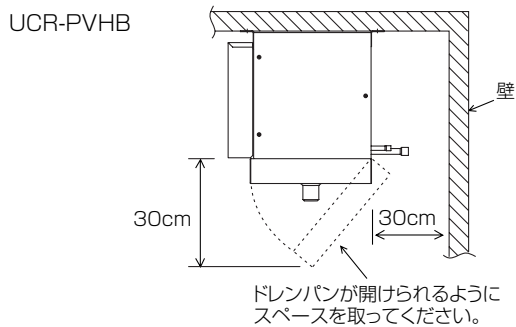
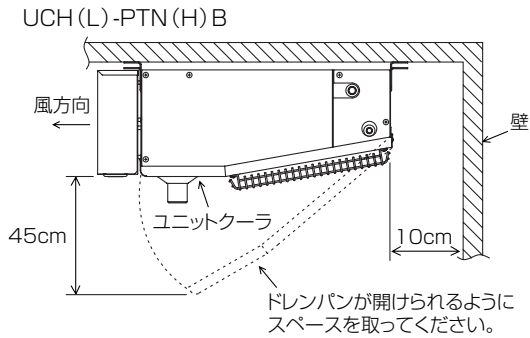
冷蔵庫間口寸法が下表以下の場合には、ユニットクーラを片側方向に並べて取付けてください。10mを超える場合には両側に向かい合わせて取付けてください。



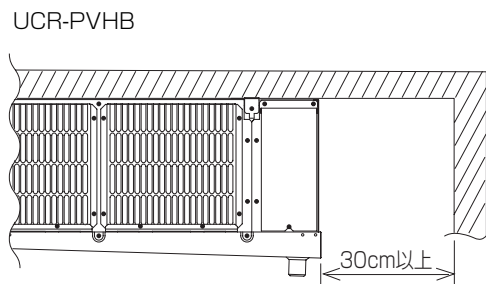
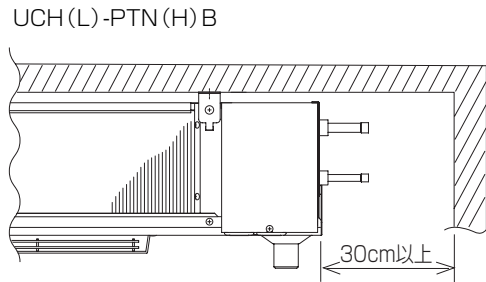
	UCR-P1VHB	UCR-P1.6VHB UCR-P2VHB	UCR-P3VHB	UCH-P08-1TNB UCL-P08-1THB	UCH-P1.6-2TNB UCL-P1.6-2THB
A	1.8/2.7	2.7/3.5	4.5/5.3	2.5/3.0	3.5/4.0

通風・サービススペースの確保

本体は、空気の循環、取付工事やサービス等を考えて裏面と壁面には下図のように間隔をあけてください。



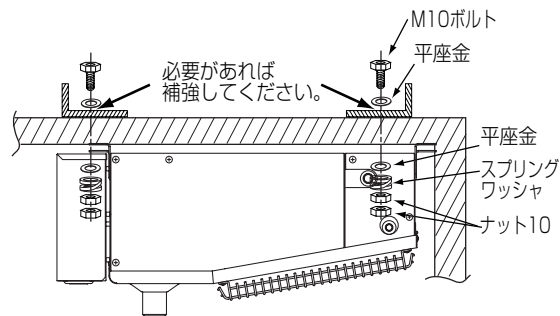
サービススペースとして下図のように間隔をあけてください。



据付方法

据付部の強度は十分に

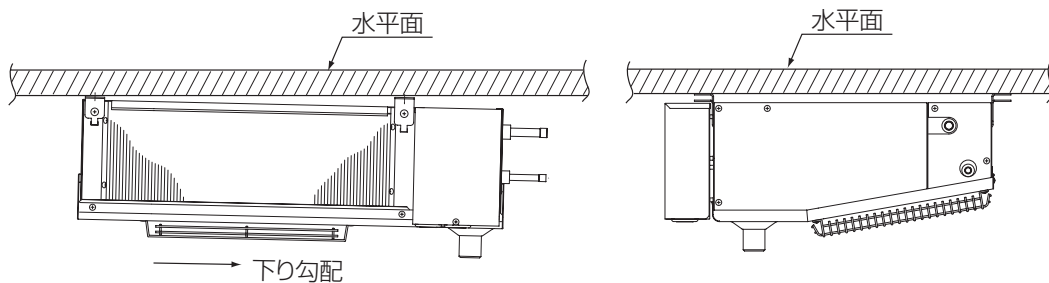
天井に取付穴φ12mmをあけM10ボルトを通して下側からナットでユニットクーラを固定してください。天井が弱い場合には、取付部に補強材を入れてください。



排水性の確認

排水を良くするため、普通に取付けるとドレンパンに傾斜が付くようになっています。天井が水平でない場合は1/60以上の勾配がとれるように取付けてください。

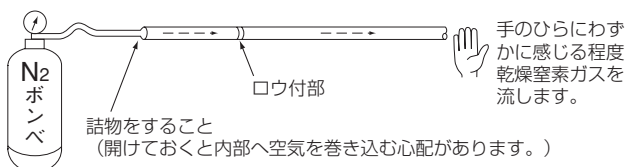
取付後、水を流して水はけを確認してください。またドレンパン前後の水平も確かめてください。



冷媒配管

ロウ付時の不活性ガス使用

ロウ付時には酸化スケールが発生しないように乾燥窒素ガスなどの不活性ガスを配管に通しながら行ってください。



ロウ付時の注意

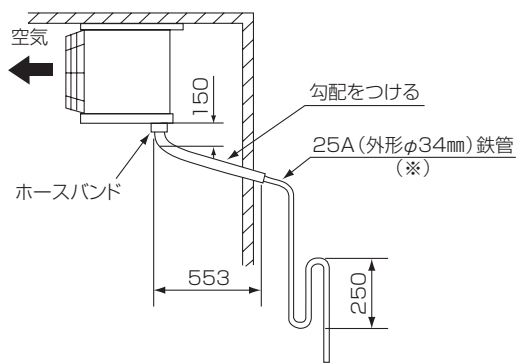
冷媒ガス出口をロウ付けする時は、膨張弁の感温筒を冷却するか取外して（作業後は必ず取付け願います）感温筒に熱が伝わらないようにしてロウ付けしてください。
そのままの状態ではロウ付けされると膨張弁のダイヤフラムが変形して故障の原因になります。

ドレン配管

ドレンホースの取付けについて

- (1) 付属のドレンホースをホースバンドで固定してください。
- (2) ドレンホースは必ず 10° 以上の下り勾配を設けてください。
- (3) ドレンホースは、庫外に導いた後Uトラップを設け、外気の侵入を防ぎます。トラップの高さは250mm位にしてください。

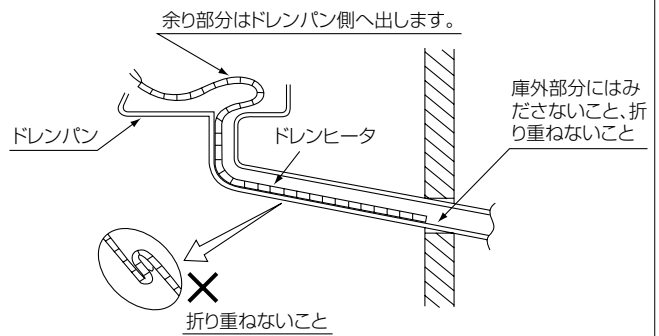
UCR-PVHBの場合



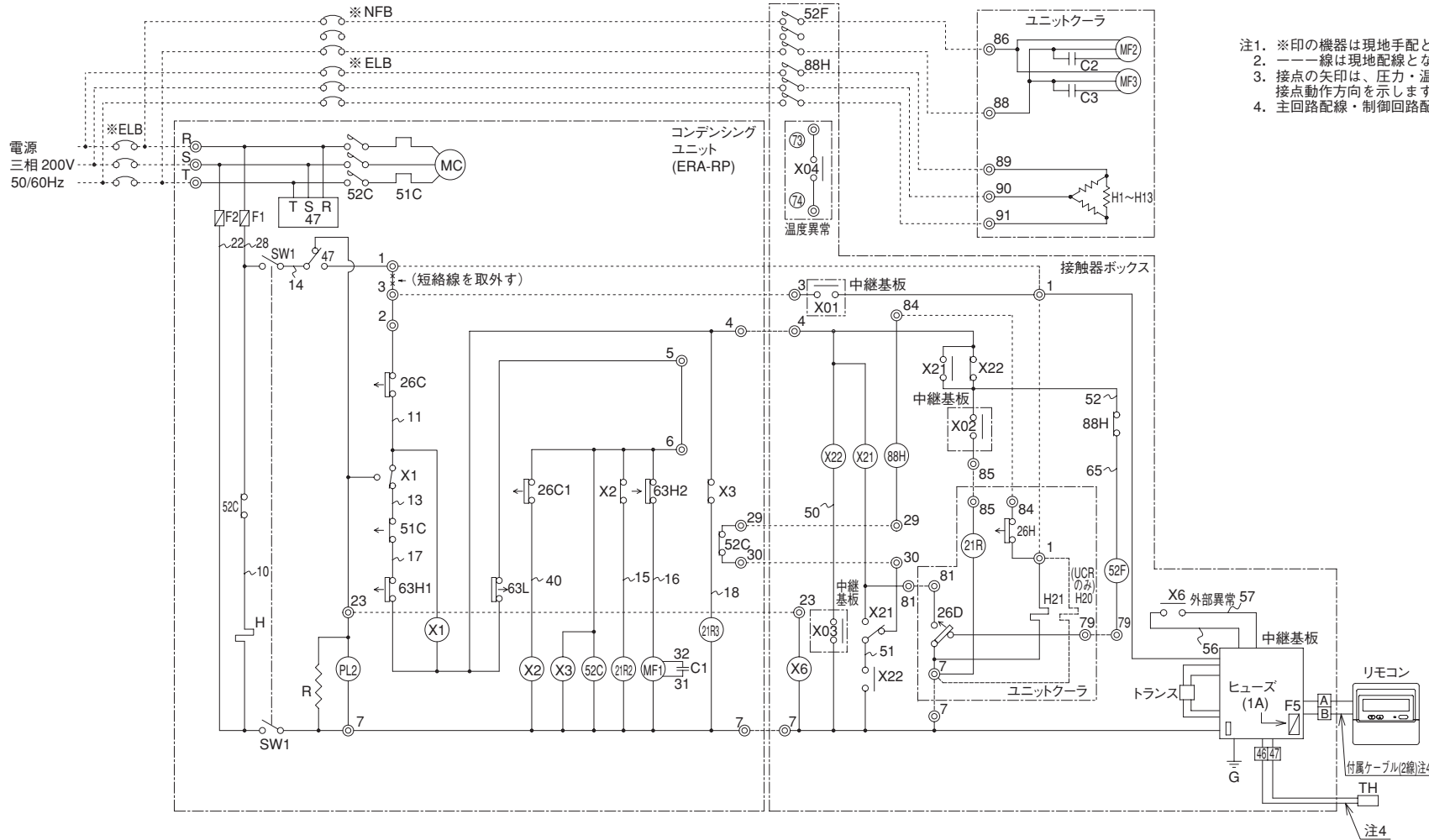
【※塩ビパイプを使用する場合は隙間が大きくなり水漏れの原因となりますので吸水性の無いパッキン等を巻きつけ、隙間を小さくしてください。】

ドレンホースヒータの取付けについて

- (1) 付属のドレンホースにヒータを取付けます。(UCRタイプのみ) ヒータはドレンホースの庫内部分のみとし、庫外部分にははみださないよう注意してください。使用条件によっては断線するおそれがあります。
- (2) ドレンヒータは常時通電とし、シリコンベルトヒータを重ねないようにホースに挿入してください。ヒータの余り部分はドレンパン側に出して取付けてください。折り重ねて使用しますと、ヒータが断線するおそれがあります。



例) UCL-PTHB,UCR-PVHB形 スタンダードコントローラ使用例:RBL-8HSE,RBR-6HSE



- 注1. ※印の機器は現地手配となります。
 2. ---線は現地配線となります。
 3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
 4. 主回路配線・制御回路配線に沿わないでください。

記号説明

記号	名称
C1~3	コンデンサ(送風機用電動機)
F1,2	ヒューズ(5A)
F5	ヒューズ(1A)
G	接地(アース)
H	電熱器(クランクケース)
H1~H13	電熱器(箱取)
H20	電熱器(ドレンホース)
H21	電熱器(端子台)
MC	圧縮機用電動機
MF1	送風機用電動機(コンデンシングユニット)
MF2,3	送風機用電動機(ユニットクーラ)
PL2	表示灯(異常・アカ)
R	抵抗
SW1	スイッチ(運転一停止)
TH	サーミスタ(庫内温度)
X01	中継基板内補助継電器(運転)
X02	中継基板内補助継電器(サーモ)
X03	中継基板内補助継電器(箱取)
X04	中継基板内補助継電器(警報)
X1,2,3,6 X21,22	補助継電器
21R	電磁弁(液)
21R2	電磁弁(インジェクション)
21R3	電磁弁(高低圧バイパス)
26C	温度開閉器(圧縮機:シェルサーモ)
26C1	温度開閉器(吐出:インジェクション)
26D	温度開閉器(霜取終了)
26H	温度開閉器(過熱防止)
47	逆相防止器(圧縮機)
51C	熱動過電流継電器(圧縮機)
52C	電磁開閉器(圧縮機)
52F	電磁接触器(送風機)
63H1	圧力開閉器(高圧)
63H2	圧力開閉器(送風機制御)
63L	圧力開閉器(低圧)
88H	電磁接触器(電熱器)
※ELB	漏電遮断器
※NFB	ノーヒューズブレーカ

7. 試運転時のご注意

膨張弁の調整

膨張弁は製品出荷時調整済みですが、万一、圧縮機の吸入ガス管温度が下表の範囲を超えている場合は下記の要領で膨張弁を調整してください。

機 種		UCH・UCL		UCR
使用冷媒		R404		R404
庫内温度		0	+5	-20
凝縮温度(℃)		+45		+43
蒸発温度(℃)		-10	-5	-30
各部温度の目安	吸入ガス管(℃)	0~+10	+5~+15	0~-10
	吐出ガス管(℃)	+80~+105		

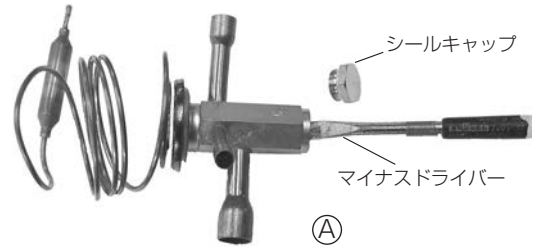
注1.電源 三相200V50/60Hz
2.外気温度20~35℃

機 種	工場出荷時の設定値 (静止スーパーヒート)K	調整スピンドル1回転当りの スーパーヒートの変化量Mpa (感温筒温度-10℃の時)	図
UCH-P08・1・1.6・2TNB UCL-P08・1・1.6・2THB UCR-P1・1.6・2・3VHB	3.0	0.045(4K)	Ⓐ

〈膨張弁の調整の仕方〉

膨張弁のスーパーヒートは上図で示すように調整スピンドルを時計方向(右回転)に回すと…スーパーヒートは増加します。反時計方向(左回転)に回すと…スーパーヒートは減少します。

※スーパーヒートの調整後はシールキャップを確実に取付けてください。(締め付トルクはⒶ 約14.7N・mです。)



注1.膨張弁の調整は、むやみに調整せず、時間をかけて安定させながら調整してください。

2.適正な運転状態が得られない場合は、冷媒チャージ量および、配管工事や感温筒の取付方法などが適正か見直してください。

8. お手入れのしかた

- 安全のため、お手入れの前に必ず電源スイッチを切ってください。
- 端子箱やファンモータには、絶対に水をかけないでください。故障(とくに漏電)の原因となります。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めますので使わないでください。

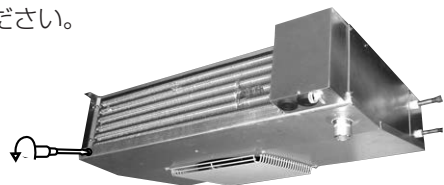
キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をとかしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き、その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭きとってください。



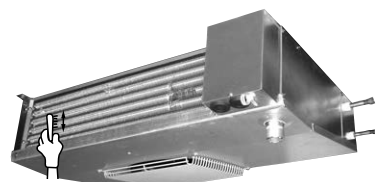
ドレンパン

- ドレンパンの開けかた—ドレンパン固定ネジを外してください。
- 清掃のしかた—布で内側のよごれを拭きとってください。



冷却器

- フィンを傷めないように目にそってハケ・ブラシなどで清掃してください。
- フィンで手を切らないように手袋をしてください。



9.保守・点検について

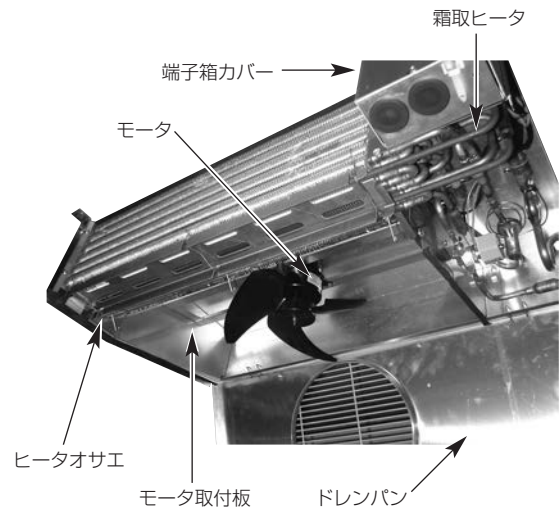
UCH,L-P08~2TN(H)B

■ファンモータの交換

- ① ドレンパンの取付ネジ（前面の2本）を外し、ドレンパンを開けてください。
- ② 端子箱カバーを取外し、モータの配線を端子台から抜き取ります。
- ③ モータ取付ネジ（4本）を外し、モータをモータ取付板より取外します。
この時、モータのリード線もモータといっしょに抜き出してください。
- ④ モータ交換の後は、上記の逆の順序で組立ててください。（注.ネジ部にはネジロック剤を塗布してください。）

■霜取ヒータの交換（UCL-PTHB形のみ）

- ① ドレンパンの取付ネジ（前面の2本）を外し、ドレンパンを開けてください。
- ② 交換する霜取ヒータに取付けられているヒータオサエをペンチを用いて取外します。
- ③ 端子箱カバーを取外し、ヒータの配線を端子台から抜き取ります。
- ④ ヒータを新品と交換し、上記の逆の順序で組立ててください。
（注. 取付具合が悪いと霜取不良の原因になりますのでご注意ください。）



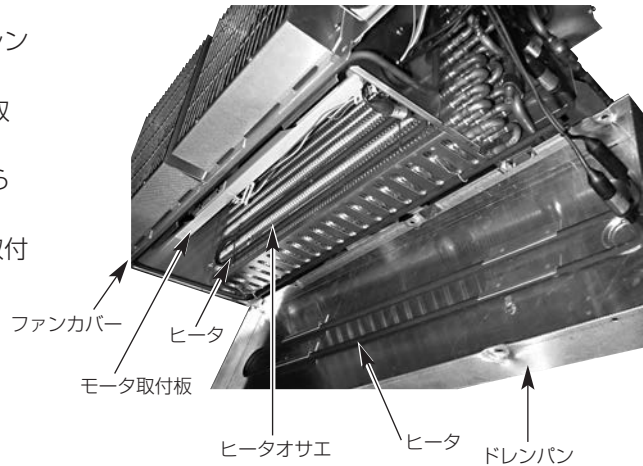
UCR-P1~3VHB

■ファンモータの交換

- ① ドレンパンの取付ネジ（前面の3本）を外し、ドレンパンを開けてください。
- ② ファンカバーの取付ネジを外し、ファンカバーを取外してください。
- ③ 端子箱カバーを取外し、モータの配線を端子台から抜き取ります。
- ④ モータ取付ネジ（4本）を外し、モータをモータ取付板より取外します。
この時、モータのリード線もモータといっしょに抜き出してください。
- ⑤ モータ交換の後は、上記の逆の順序で組立ててください。
（注.ネジ部にはネジロック剤を塗布してください。）

■霜取ヒータの交換

- ① ドレンパンの取付ネジ（前面の2本）を外し、ドレンパンを開けてください。
- ② ファンカバーの取付ネジを外し、ファンカバーを取外してください。
- ③ 交換する霜取ヒータに取付けられているヒータオサエをペンチを用いて取外します。
- ④ 端子箱カバーを取外し、ヒータの配線を端子台から抜き取ります。
- ⑤ ヒータを新品と交換し、上記の逆の順序で組立ててください。
（注. 取付具合が悪いと霜取不良の原因になりますのでご注意ください。）



サーモスタット

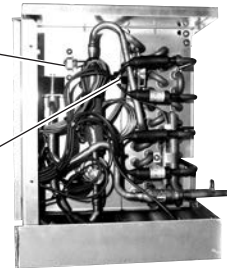
サーモスタット（霜取終了・過熱防止）が故障した場合は次の方法で交換してください。

- ①端子箱カバーと端子箱側側板を取外します。
- ②UCR-PVHB形の場合は右図にあるように固定ネジを取外して端子箱を右側に回転させ、霜取終了サーモの固定ネジ部が正面から見える様にしてください。
- ③冷却器側板・バンドに取付けられているサーモスタットを交換します。
なお、リード線3本（赤・茶・黒）が霜取終了用サーモスタットで、リード線2本（黒）が過熱防止用サーモスタットです。
- ④端子番号を間違わないように接続してください。
霜取終了用サーモスタット
・赤……7番端子へ ・茶……81番端子へ
・黒……79番端子へ
過熱防止用サーモスタット ……1.84番端子へ

UCR-PVHB形正面



UCR-PVHB形側面



過熱防止
サーモ
スタット

霜取終了
サーモ
スタット

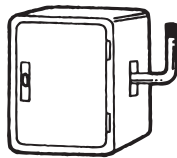
サーモスタット		開	閉
霜 取 終 了 用	UCL-P08T形 UCR-P1.6~3V形	20℃	0℃
	UCL-P1~2T形	28℃	14℃
	UCR-P1V形	32℃	14℃
過 熱 防 止 用	UCL-P08~2T形 UCR-P1~3V形	42℃	22℃

10. ようずがおかしいとき

- サービスをお申しつけの前につぎのことをお調べください。
- それでも正しく運転しないときは工事店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス、当社営業所へご連絡ください。

電源のスイッチが切れている

完全に入っているか。
もう一度入れなおし
てみてください。



ブレーカが切れている

完全に入っているか。
もう一度入れなおし
てみてください。



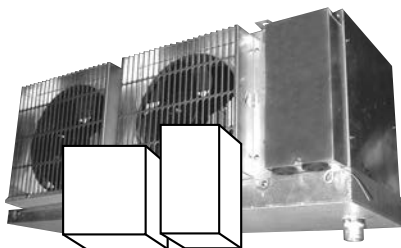
停電している

リモコンのスイッチを電源が復帰してから再び入れてください。

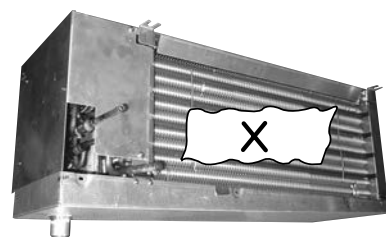
よく冷えない

風通しが悪くなっていませんか。

ユニットクーラやコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっていませんか。



吸込口にダンボール・ビニール等のゴミが付着していませんか。



8ページのお手入れのしかたをお読みください。

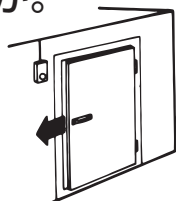
商品の温度が高すぎませんか。

お湯、お茶などが高温状態で入っていませんか。

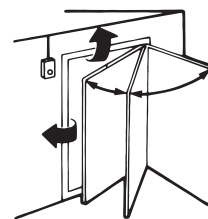
吸込口が霜で目詰まっていますか。

扉があいていませんか。

異物などがはさまって隙間があいていませんか。



扉の開閉の回数が多くありませんか。



次の場合は故障ではありません

風が横に吹いている

ユニットクーラへの霜の付着量が増えてきますと、冷風が横に吹いたり、羽根の回転が目視で確認出来るようになります。これは霜付が多すぎるために起りますので、霜取時間の間隔を見直してください。

音がする

- (1)冷却・霜取運転開始後と停止後に「ピシッ」と音がすることがあります。温度変化でパネルなどが膨脹収縮してこすれる音ですので問題はありません。
- (2)吸込口を目詰まり状態で使用されますとパネル等からビビリ音が出ることがあります。これは、目詰まりにより送風機へ静圧がかかったことにより起っていますので、霜取時間の間隔を見直してください。

11.保証条件・アフターサービス

1 無償保証期間および範囲

無償保証期間は、据付けた当日を含め向う1ヵ年間とします。無償保証範囲は、故障した当該部品または弊社が交換を認めた部品とします。ただし下記使用法による故障の発生については、保証期間中であっても部品は有償支給となります。

2 保証できない範囲

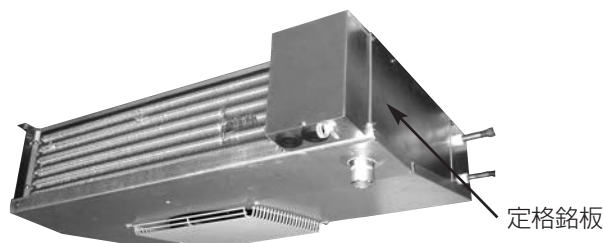
- (a) 機種選定、冷凍装置設計に不具合がある場合。
本工事説明書で指定した以外の制御機器を使用したり、指示事項および注意事項を遵守せずに工事を行った場合。また冷却負荷に対し明らかに過大過小の能力を持つユニットクーラを選定し、それが起因となって故障に至ったと弊社が判断した場合。
- (b) 弊社の製品仕様を無断で改造した場合、または弊社製品付属および指定の保護機器を使用せずに事故となった場合。
- (c) 指定の使用庫内温度範囲を守らなかったことによる事故の場合、規定外の電圧を印加したことによる事故となった場合。
- (d) 化学薬品、有害ガス等の特殊条件による腐食、ガス漏れ事故の場合。
- (e) 天災、火災による事故の場合。
- (f) 据付工事に不具合がある場合。
- (g) その他、ユニットクーラの据付け、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での故障は、保証できません。また、いかなる場合でもユニットクーラの故障に起因した冷却物の補償、および営業補償等の2次補償はいたしませんので当社代理店等と相談のうえ、損害保険で対処してください。

■万一異常がありましたら、ただちに運転を中止し運転スイッチを切り、お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス・当社営業所へご連絡ください。

●ご連絡の場合は、つぎの3点をハッキリお示しください。

- 1.ユニットクーラ形名（例：UCL-P1THB）
- 2.製造番号
- 3.故障内容（できるだけくわしく）

定格銘板に記載してあります。



定格銘板

12.仕様

①UCH- PTN形

項目		形名	UCH-P08TNB (-BBN) (-BKN)	UCH-P11TNB (-BBN) (-BKN)	UCH-P1.6TNB (-BBN) (-BKN)	UCH-P2TNB (-BBN) (-BKN)
性能	冷却能力 (kW)		0.99/1.09	1.38/1.53	1.98/2.09	2.28/2.44
	条件 (TD10K)					
電源		三相 200V 50/60Hz (送風機：単相)				
送風機	運転電流 (A)		0.3/0.25		0.6/0.5	
	始動電流 (A)		0.55/0.51		1.1/1.02	
ヒーター電流 (A)			—			
風量 (m ³ /min)			9/12		18/21	21/24
外形寸法	高さ×幅×奥行 (mm)		200×660×440	200×820×440	205×1060×440	210×1285×440
製品質量 (kg)			11	13	17	20

②UCL- PTH形

項目		形名	UCL-P08THB (-BBN) (-BKN)	UCL-P11THB (-BBN) (-BKN)	UCL-P1.6THB (-BBN) (-BKN)	UCL-P2THB (-BBN) (-BKN)
性能	冷却能力 (kW)		0.99/1.09	1.38/1.53	1.98/2.09	2.28/2.44
	条件 (TD10K)					
電源		三相 200V 50/60Hz (送風機：単相)				
送風機	運転電流 (A)		0.3/0.25		0.6/0.5	
	始動電流 (A)		0.55/0.51		1.1/1.02	
ヒーター電流 (A)			2.6	3.5	3.9	6.1
風量 (m ³ /min)			9/12		18/21	21/24
外形寸法	高さ×幅×奥行 (mm)		200×660×440	200×820×440	205×1060×440	210×1285×440
製品質量 (kg)			12	14	18	21

③UCR- PVH形

項目		形名	UCR-P1VHB (-BBN) (-BKN)	UCR-P1.6VHB (-BBN) (-BKN)	UCR-P2VHB (-BBN) (-BKN)	UCR-P3VHB (-BBN) (-BKN)
性能	冷却能力 (kW)		0.73/0.78	1.14/1.21	1.45/1.55	1.95/2.07
	条件 (TD10K)					
電源		三相 200V 50/60Hz (送風機：単相)				
送風機	運転電流 (A)		0.2/0.15	0.4/0.3	0.4/0.3	0.6/0.45
	始動電流 (A)		0.3/0.3	0.6/0.6	0.6/0.6	0.9/0.9
ヒーター電流 (A)			3.9	4.8	5.6	6.7
風量 (m ³ /min)			8.5/9.5	16/18.5	16/18.5	25/28
外形寸法	高さ×幅×奥行 (mm)		336×650×316	336×810×316	336×1050×316	336×1275×316
製品質量 (kg)			13	16	20	24

警報装置の設置について

冷凍装置には、安全確保のため、種々の保護装置が取付けられています。

万一、漏電ブレーカや保護回路が作動した場合に、警報システムが十分でないと、長時間にわたり冷凍機の運転が停止したままになり、貯蔵品の損傷につながります。

適切な処置がすぐできるよう、警報装置の設置や温度管理システムの確立を計画時点でご配慮くださるようお願いいたします。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT04626X02